

平成6年7月12日

清掃事業は身近な豊島区で

池袋駅、巣鴨駅で、事業移管に向け街頭キャンペーンを実施

豊島区で12日、JR池袋駅、JR巣鴨駅周辺を会場に、都区制度改革に伴う清掃事業移管に向けた、豊島区長・同区議会議長らによる『街頭キャンペーン』が行なわれた。

この『街頭キャンペーン』は、去る5月24日に提示された都区制度改革に伴う清掃事業の移管案（都案）を受け、特別区が清掃移管に向けて積極的に対応していく姿勢を区民等に明らかにし、理解を得ることを目的に行われたもので、昨11日から17日にかけて行われている特別区長会・特別区議会議長会合同PR行動の一環。

今日は午前10時から、加藤一敏豊島区長、山田五郎同区議会議長を始めとする75名ほどの関係者が街頭に立ち、スローガン『清掃事業は身近な豊島区で』『身近な仕事は都から区へ・制度改革実現』と印刷されたたすきをかけ、清掃事業移管について理解と協力を求める内容のちらしとポケットティッシュを区民らに配布し、PRした。

この他に、池袋駅では防災無線、巣鴨駅では広報車によるPR放送が同時に行われた。

詳細 清掃移管準備担当課